

## 島根県における「がんサロン」活動

島根県では、「癌と共に生きる会」元会長である佐藤 均さん（故人・写真左から 3 番目）が取り組まれた活動がきっかけとなり、がん患者や家族等の方々が病院の会議室や保健センターなどに集まって、お互いの療養体験を語り合ったり、がん医療の最新情報等を学習したりする場である「がんサロン」が県内 15 ヲ所（2007 年 11 月現在）に開設されています。



県内で最初に「がんサロン」が開設されたのは、2005 年 12 月に益田市在住のがん患者である納賀良一さんが市内の福祉センターを会場として月 1 回開催するようになったのが始まりです。その後、県内のがん患者や家族ががん診療連携拠点病院等に「院内がんサロン」の開設を働きかけ、2007 年 11 月現在、県内 6 ヲ所全てのがん診療連携拠点病院を含む 9 ヲ所の病院に「院内がんサロン」が開設されています。また、『もっと身近なところで集いたい』という患者・家族の声がきっかけとなって、町の保健センターや公民館等を会場とした「地域がんサロン」が県内 6 ヲ所に開設されています。

「がんサロン」では、医療機関や行政と協働した活動を展開しており、「がんサロン」に医療関係者や県・市町村の職員を招いての学習会や意見交換会を行っているほか、がん対策の担当部局である県医療対策課には、各サロンの代表等が定期的に訪問し、意見交換を行っています。

[http://www.pref.shimane.lg.jp/life/kenko/iryo/shimaneno\\_iryo/gan/](http://www.pref.shimane.lg.jp/life/kenko/iryo/shimaneno_iryo/gan/)



さらに、地域へ出向いての活動として、「健康まつり」における療養体験を語る取り組み、がん患者が小中学校に出向いて患者体験を語る「いのちの授業」活動、看護学部に出向いての講演等の活動にも取り組んでいます。

2007年1月と9月には、がんサロンのメンバーを中心とした実行委員会の主催で、「がんをいっしょに考える集い」を開催し、患者・家族、医療関係者、行政関係者が一堂に会し、患者・家族からの意見発表及び医療関係者、行政関係者を交えた意見交換の集いも開催しました。

**【連絡先】**

島根県健康福祉部医療対策課 医療専門幹 村下 伯（はく）

医療対策課電話：0852-22-5060（直通）